



玻璃を蛋白上ニ液少ク画像を寫す法

紙ハ纖維狀の織紋あり且又之ヲ粘著する者ノ妨害等
あるを以テニフセテ、スト、ヒクトル氏紙ニ代フルハ他物を
以テせん、あとも考案シ其始糊を用ひ後ハ蛋白を用ひ
て之を玻璃版上ニ注ぎ其他ハ紙と同法を行へり即蛋白ニ
伊阿曹母を合じこる者を溶クハ此液を以テ玻璃を被ひ
其後之を酸化硝酸銀液中ニ致せハ光輝ニ感シ易キ鹽
伊阿土銀を生じこる。光ニ中てこる後ハ没食酸を以テ
其画像を顕起せしめ次ニ硫酸普達を以テ之を固著せし
む



41-7491

ポトカラヒイ 文庫08 C86

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

002

